

須磨多聞線（西須磨）整備事業 説明会（平成 29 年 6 月 28 日・7 月 9 日）

説明会参加者からの主なご意見・ご質問と神戸市の回答（要旨）

| ご意見・ご質問 | 神戸市の回答 |
|---|---|
| <p>須磨多聞線の沿道における環境への影響はどうか。</p> | <p>須磨多聞線完成後の沿道環境（大気質、騒音など）の予測を行っている。</p> <p>騒音については防音壁の設置や排水性舗装を行うなど、一定の対策を行うことにより環境基準以下になる予測結果となっている。</p> |
| <p>地元住民以外にとっては役に立つ道路かもしれないが、地元住民にとってはメリットのない道路である。</p> <p>街が分断され、景観も損なわれる。</p> | <p>沿道から本線（高架）までは約 10m の離隔があり、副道、歩道、植栽のレイアウトについて設計上の工夫が可能であり、地元の意見を聞きながら計画を決めていきたい。高架下や周辺の市有地の計画づくりについても、よりよいまちづくりにつながるよう考えていく。</p> <p>景観への影響については、特に中央幹線付近からの眺望への影響が大きいと考えており、橋梁の構造等について影響が小さくなるように十分配慮し設計を行う。</p> <p>地元の皆様とは、今後も建設的な話し合いや意見交換を行っていきたい。</p> |
| <p>現在の計画ありきで説明している。他案も含めて住民と話し合うべきではないか。</p> <p>須磨多聞線の整備目的が、天井川左岸線の渋滞解消であれば、踏切の立体交差化など天井川左岸線を改良すればよいのではないか。</p> | <p>須磨多聞線は広域的な道路ネットワーク計画の一部として計画し、順次、前後の区間の整備を進めてきており、用地買収の大部分を終えている。そのため、計画を見直すことは現実的ではないと考えている。</p> <p>また、須磨多聞線は、天井川左岸線の渋滞緩和だけでなく、災害時の緊急輸送道路としての役割を担うことなども整備目的である。</p> <p>天井川左岸線の踏切を立体交差化しようとする場合、新たな用地買収や、工事に伴う大規模な交通規制が更なる渋滞を引き起こすことなどから、現在の状況では現実的ではないと考えている。</p> |

| ご意見・ご質問 | 神戸市の回答 |
|---|--|
| <p>離宮公園前交差点の計画、及び千森線と須磨多聞線の交差点計画はどうなるのか。</p> | <p>離宮公園前交差点は、須磨多聞線（南北方向）と神戸明石線（東西方向）を主の道路として考えており、千森線は離宮公園前交差点の南側で須磨多聞線に取り付く計画としている。</p> <p>安全でスムーズな交差点になるよう、今後警察と協議しながら、詳細な設計を行う。</p> |
| <p>離宮道はどのようになるのか。</p> | <p>離宮道は現状のままであり、車を通行止めにしたリ、松の木を伐採することはない。</p> <p>須磨多聞線が完成すれば交通量は現在より大幅に減少するので、状況に応じて、より一層の交通安全対策などの改善の検討をしたい。</p> |
| <p>阪神淡路大震災の時、周辺道路が大混雑して救援物資の輸送に多大な時間を要した。</p> <p>防災の観点からも須磨多聞線を整備する意義はあるのではないか。</p> | <p>須磨多聞線は災害時における緊急輸送道路としての役割を担う重要な道路である。</p> <p>また、救急車などの緊急車両の速達性の向上にもつながる。</p> |
| <p>須磨多聞線の用地買収に応じた人としては、整備を早く進めてほしいと思っているのではないか。</p> <p>どこの道路も様々な人が利用する。「道路整備に協力しない」という、自分たちの地域だけ良ければいいという考えはおかしいのではないか。</p> | <p>多くの地権者の皆様のご協力により、用地買収は大部分を終えている。</p> <p>今後も、より良い計画づくりを進める。</p> |
| <p>ミニニュースでは、「地元の会合などに説明に伺うのでご連絡ください」と記載されているが、地元からの連絡を待っているだけではなく、神戸市が主体的に、より小さな区域を対象に要望を聞いてまわってはどうか。</p> | <p>道路整備に伴う影響や効果、交通量などは場所ごとに異なる。</p> <p>このため、小さなエリア単位、マンションや個別の単位での説明にも努める。</p> |